



学園祭&部活動特集!!

新たな100年への跳躍

当たり前前の日常の大切さをかみしめて
 全力で駆け抜けた巨摩高生の夏



- 特集... Special 令和3年度全国高等学校総合体育大会
- 関東大会・全国大会での活躍 汗と涙 北信越総体 2021
 - 第67回白嶺祭を振り返って 月29日(木)▶8月1日(日) 体操競技 8月9日(月)▶8月11日(水) リージョンプラザ上越 謙信公武道館
 - 生徒会役員選挙・ピブリオバトル・同窓会奨学金交付式ほか



令和4年に巨摩高校は
 創立100周年を迎えます



ピブリオバトル開催
 7月21日(水)、図書委員会主催の巨摩高ピブリオバトルが開催され、5人のパトラーが読んで面白いと思った本を紹介し、観戦者がどの本を一番読みたくなったかを選びました。投票の結果、3年生の三浦愛以さん(竜王中学校出身)が紹介した「ハッピーバースデー(吉富多美)」が最多票を集め、チャンプ本になりました。
 (前列中央が三浦さん)



同窓会奨学金交付式



7月21日(水)、進修館ホールにて同窓会奨学金交付式が行われ、今年度の同窓会奨学生に選ばれた6名(各学年2名)に、武井同窓会長様から奨学金が交付されました。奨学生に選ばれた皆さんには、今後も勉強や部活動に励み、高校生活が充実したものになることを期待しています。



kyoutou sensei kara
Hi-To-Ko-To
 生涯学習と「巨摩スタイル」

教頭 天野 信一



生涯学習は、文字通り生涯にわたって行う学習活動です。私たちは、生まれてから間もなく、家庭を中心として学習を始めます。やがて、学校に通い学習を進めるとともに、地域社会でもいろいろな学習機会に出会い、学習する内容を広げていきます。さらに、学校を卒業して社会に出ると、仕事にかかわる学習や、豊かで充実した人生を送るための学習を続けることとなります。このように、家庭・学校・職場・地域社会で行われるすべての学習を生涯学習として捉えることができ、生涯学習は、一人一人の生きていく姿そのものに深く関わっていると言えます。

家庭教育では、親と子のふれあいや、同年齢・異年齢の子どもたちとの遊び、自然とのふれあい、地域行事や地域活動への参加など、子どもにとって、社会生活に必要な基本的な生活習慣を育て豊かな心を育みますので、生涯学習の原点といえます。

学校教育では、本校で取り組んでいる「巨摩スタイル」のように、自ら学ぶ力を育てる学習活動、主体的・実践的な態度を育てる活動など、一人一人の個性を大切にしながら、基礎的な学力を身につけ、「わかる喜び」「学ぶ楽しさ」を通して自己教育力の育成をします。生涯学習の基礎を培う場といえます。

生涯学習は、主体的に行うことが基本で、勉強だけでなくスポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動などの中でも行われ、自分にあつたやり方を選びながら生涯を通じて行うものです。

No.033
 巨摩高 百景



「いつも変わらぬ場所に」
 この写真は、日々、図書室を訪れる人達が一度は目にするであろう時計にフォーカスをあてたものです。図書室で読書などしている時、ふと時計に目を向けると、いつの間にか……なんていう経験をした人もいるでしょう。ですが、偶にはそんなひとときもいいのではないのでしょうか。



春季審査会佳作受賞作
 「楽器のみる世界」

写真部 澤登 陽太(櫛形中学校出身)



第67回白嶺祭を振り返って

成功裏に終えた白嶺祭

白嶺祭実行委員会委員長 鈴木 康凌(増穂中学校出身)



今年度の白嶺祭は、昨年度に引き続き規模を縮小しての開催となりました。しかし、生徒の皆さんや先生方の徹底した感染症対策のおかげで、最高の学園祭をトラブルなく、無事に完成させることができました。クラス企画やパフォーマンス、文化局発表においても、昨年を超えるクオリティと盛り上がりが見られ、実行委員長としてとても安心したところです。様々な制限やイレギュラーなこともあった中、本番では全生徒が楽しそうに笑顔で過ごしている姿を見て、巨摩高生の団結力を感じることができました。私事になりますが、1日目に私が司会をし、歌ったりモノマネをしたりした時に、3年生を中心に皆さんが盛り上げてくれたおかげで、自分にとって一生忘れられない白嶺祭になりました。本当にありがとうございました。来年も、今年に引けをとらない学園祭にしてください!

白嶺祭を無事終えて

生徒会長 石合 智(城南中学校出身)



皆さんこんにちは、生徒会長の石合智です。第67回白嶺祭お疲れ様でした。規模こそ例年より小さくなってしまいましたが、楽しかったという声がたくさん届き、生徒会一同、大変うれしく思っています。今年の白嶺祭は実施できるのかさえ、ずっとわからない状況が続き、不安一杯でした。感染症対策を徹底するために、全部門で要項を一から見直し、密にならないかという点に注目して、消毒や換気の場所、時間の設定などを生徒会全員で話し合いを重ねました。当日も細かなところまで目を光らせ、役員同士で声を掛け合いながら、問題点を解決していきました。こうして無事に終えることができたのは、白嶺祭実行委員会の協力や先生方のサポート、そして何より全校生徒の皆さんのおかげです。改めてご協力ありがとうございました。

完全制覇(全部門1位)での総合優勝

3年6組理事 清藤 健太郎(白根御勅使中学校出身)



私たち3年6組は、全ての種目で1位を獲得し、白嶺祭を完全制覇で優勝することができました。完全制覇はここ数年なかったそうで、そんな凄い結果を残せた要因は、クラスの団結力と担任の小宮山晴香先生の存在だと思います。仲間の殆どが3年間同じクラスで、互いの個性をよく理解合っています。そのため、適材適所の役割分担で一人ひとりが持つ力を最大限に発揮できました。また、小宮山先生も3年間一緒に、私たちのことをよく見て支えてくれました。40人の個性と先生の個性が掛け合わさって完全制覇を成し遂げられたと思います。



左から井上さん、望月さん、フナキさん



校長先生から認証状を渡された井上さん

9月17日(金)、放送を通して生徒会役員選挙立会演説会が行われ、会長候補と副会長候補、そしてそれぞれの責任者が、立候補の理由や抱負、応援演説を全校生徒に訴えました。投票は各自のスマートフォンから投票する形で行われ、生徒会長には井上万夕さん(若草中学校出身)、新副会長には望月愛美さん(増穂中学校出身)とフナキ夏恋さん(八田中学校出身)が選出されました。10月1日(金)には認証式が開かれ、新旧生徒会本部役員が引継ぎを行いました。

新 生徒会役員選挙 認証式



第67回白嶺祭「夢創」に 全校生徒の心ひとつに

文武不岐こそ 巨摩の理想

関東・全国大会での成果報告

弓道部男子

全国高校総体弓道競技大会 男子団体第3位
(齋藤 瑠汰・長坂 智尚・ハーガー恵能・金丸 大也・齊藤 康暉・澤登 颯河)

私は6月の県予選で団体優勝を果たし、新潟県のインターハイ本戦に出場してきました。全国という舞台は、私の想像を超えており、様々な苦難がありました。県の代表としてのプレッシャー、感じたことのない緊張感、コロナ禍の影響による時間制限。自分の射をすることがこんなに難しいと感じたことはありませんでした。そんな中で考えていたのは、これまでの3年間の稽古と仲間との信頼関係です。地道に努力を積みかさね、ひたすら自分自身と向き合い稽古をしてきました。仲間との切磋琢磨した日々や声を掛け合い、励まし合い、鼓舞し合ったことを思い出しながら、挑みました。その結果、全国第3位という功績を残すことができました。



これまで一緒に支えてくれた仲間、心から感謝しています。一緒に弓道をしてきて本当にありがとう。

弓道部男子 金丸 大也(櫛形中学校出身)

弓道部女子

関東高校弓道大会女子個人優勝
全国高校総体出場

私は今年度、関東大会・全国大会に出場し、関東大会で個人優勝という結果を残すことができました。弓道部に入部した当初は、自分が大きな大会で活躍できる日が来るとは思っていませんでした。喜びと同時にとても驚きました。関東大会は高校入学後、初となる県外での大会だったため、いつもの環境とは異なりましたが、一本一本楽しんで引くことができました。また、個人として出場した全国大会や明治神宮で行われた関東個人大会は、私が1年生のときから憧れていた舞台でした。3年間の集大成として、このような大会に出場できたことをとても嬉しく思っています。辛いことも楽しいことも共にした部員や、指導して下さった先生、応援の言葉は私の大きな支えとなり、最後まで自分の射と向き合うことができました。本当にありがとうございました。



弓道部女子 饗庭 凜(櫛形中学校出身)

ホッケー部

関東高等学校ホッケー大会 準優勝 全国高校総体出場

私たちホッケー部は新チームになってから、全国制覇を目標に日々の練習に力を入れてきた。新型コロナウイルスの影響で遠征に行くことができなかったが、先生、コーチの適切な指導や、大学生、マスターズの方々と練習試合で力をつけていき、成長することができた。



6月の関東大会では決勝戦で敗れてしまい、準優勝という悔しい結果になってしまった。この時の気持ちを忘れず、2か月後のインターハイで勝つために練習に取り組んだ。しかし、結果は2回戦敗退となってしまった。全国のレベルを改めて知ることができ、勝つためにはもっと質の高い練習をしていくことが必要だと思った。

12月には全国選抜大会があり、このチームで戦う最後の大会になる。全国制覇を果たすために、チーム一丸となって練習に励んでいきたい。

ホッケー部 永沢 里桜(白根巨摩中学校出身)

U-18女子ホッケー日本代表選手
全国高校総体ホッケー競技女子優秀選手
米山まいり(白根巨摩中学校出身)▶



吹奏楽部

山梨県吹奏楽コンクール高等学校Aの部 金賞
西関東吹奏楽コンクール高等学校Aの部 銅賞

私たち吹奏楽部は、9月24日に西関東吹奏楽コンクールに出場しました。先輩方の思いを受け継ぎ、「人に届く音楽」で西関東大会へ行こうという目標を掲げ、山梨県大会で代表権を獲得しました。しかし、西関東大会に向けた練習を始めてからすぐに、新型コロナウイルス蔓延防止のため、練習時間が短くなってしまった。限られた時間の中で、県大会の演奏よりも完成度の高い演奏にしていけるためには、あまりにも時間が無く、焦るばかりでした。また、本番の日程も大幅にずれ込み、3年生は受験、1・2年生は次の大会出場に対する不安も大きくなりました。それを乗り越え、無事に西関東大会の舞台に部員全員で立つことができました。コロナ禍で多くの方々の努力と協力の上で開催された西関東大会で精一杯演奏できたことを心から感謝しています。



吹奏楽部 岩田 一華(八田中学校出身)

Congratulations!!

